

特別相談「多重債務110番」の実施結果について

東京都と23区26市1町は、東京三弁護士会、東京司法書士会、日本司法支援センター(法テラス)などの法律専門相談窓口等と連携して、平成26年9月1日(月)及び2日(火)の2日間、特別相談「多重債務110番」を実施しましたので、その結果をお知らせします。

主な相談結果

- 特別相談期間中の相談件数は、**全体で308件**
 - ・東京都消費生活総合センター 150件
 - ・区市町の消費生活センター 49件
 - ・弁護士会、司法書士会、法テラス及び協力実施団体 109件

《東京都消費生活総合センターで受け付けた相談の概要》

- 相談者の平均年齢は53.8歳
 - 4社からの借入れが最も多い
 - 一人当たりの平均債務額は970万円
 - 当初の借入れ理由でもっとも多いのは「低収入・収入の減少」
- 都内消費生活センターから「東京モデル」(別紙参照)により20件を東京三弁護士会、法テラスなどの法律専門相談窓口につなぎ、フォローアップしました。

実施概要

- 実施日 平成26年9月1日(月)・2日(火)の2日間
 - 実施団体 東京都消費生活総合センター、都内23区26市1町の消費生活センター、東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会、東京司法書士会、日本司法支援センター(法テラス)、(公財)日本クレジットカウンセリング協会、全国クレジット・サラ金被害者連絡協議会、財務省関東財務局東京財務事務所、日本貸金業協会、東京都生活再生相談窓口
- ※「多重債務110番」は、「自殺防止!東京キャンペーン特別相談」(福祉保健局)と連携して実施しました。

★多重債務に関する相談は、引き続き、東京都消費生活総合センター 03-3235-1155
及び区市町村の消費生活相談窓口で受け付けています。一人で悩まずに、早めにご相談ください。

[問合せ先]

東京都消費生活総合センター相談課

電話 03-3235-1219

○主な相談事例

【生活費の借入れから多重債務となった相談例】

生活費を捻出するため、サラ金2社から100万円、クレジットカードから130万円、オートローンで300万円の借入れをした。車を担保にヤミ金と思われる業者から60万円も借りている。働き始めたばかりで、収入もなく、親の介護もあり、生活費がまったくなくなってしまった。今まで、親の年金でどうにかやっていたが、ほとんどが返済に消えている。借りては返す状態を繰り返していたが、ついにはこのカードも作れなくなってしまった。債務整理を考えたい。

(債務額 590万円、40歳代 男性)

【儲け話を持ち掛けられたことから多重債務となった相談例】

両親が介護状態になり、家計のために副業をしようと、ネットで見つけた競馬情報を提供するサイトと宝くじの情報を提供するサイトにアクセスした。事業者から電話があり、「必ず儲かる」と言われたので、情報を買うために、次々と個人名の銀行口座に振り込んだ。競馬情報に合計800万円、宝くじ情報に合計700万円を振り込んでいるが、事業者と連絡がとれなくなった。当初は、貯金を切り崩して払っていたが、これ以上支払えないと言うと、サラ金から借りろとか、友人から借りろと言われ、サラ金から500万円、友人から350万円を借りた。友人にまず返済しようと思ひ、銀行から300万円の借入れの申し込みをしたが審査結果はまだでていない。返済ができないので、債務整理を考えたい。

(債務額 850万円、40歳代 男性)

【カウンセラーが対応した相談例】

○ 自分の兄弟が、母の実印を持ち出し、家や土地を担保に投資資金を借り入れていた。勤務先から数百万円の借金もして、母が代わりに返済していたが、数年前に母が亡くなった。弟は仕事をしているが、パチンコ、競馬、競輪等に通っている。ギャンブルを止めることが出来ず、依存症でないかと思う。今も借金を抱えているようだが、債務残高はわからない。弟が実家の土地と建物を売却しようとしているようだ。どうしたらよいか。

(債務額 不明、60歳代 女性)

○ 自分の兄弟が、タレントの追っかけをし、多額の商品を買って、それが原因で多重債務状態になっている。給与をすべてタレント関係の出費にあてている。昨年、自分がお金を貸して、債務整理をさせたが、また借金を作ってきたので、今度は母が返済した。しかし、また借金をしている様子が見られる。どうしたらよいか。

(債務額 100万円、50歳代 女性)

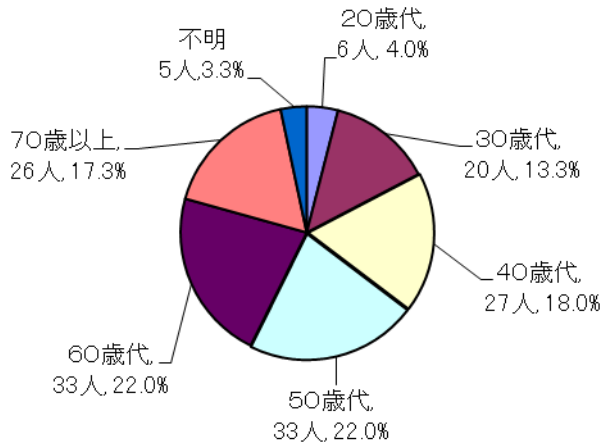
東京都消費生活総合センターで受け付けた相談の概要

<相談内容の分析>

(*パーセンテージの合計は、端数処理の関係で100%にならない場合があります。)

(1) 相談者の年齢構成

- ・平均年齢は53.8歳
- ・最年長は86歳(男性)、最年少は20歳(男性)
- ・一番多い年代は50歳代と60歳代



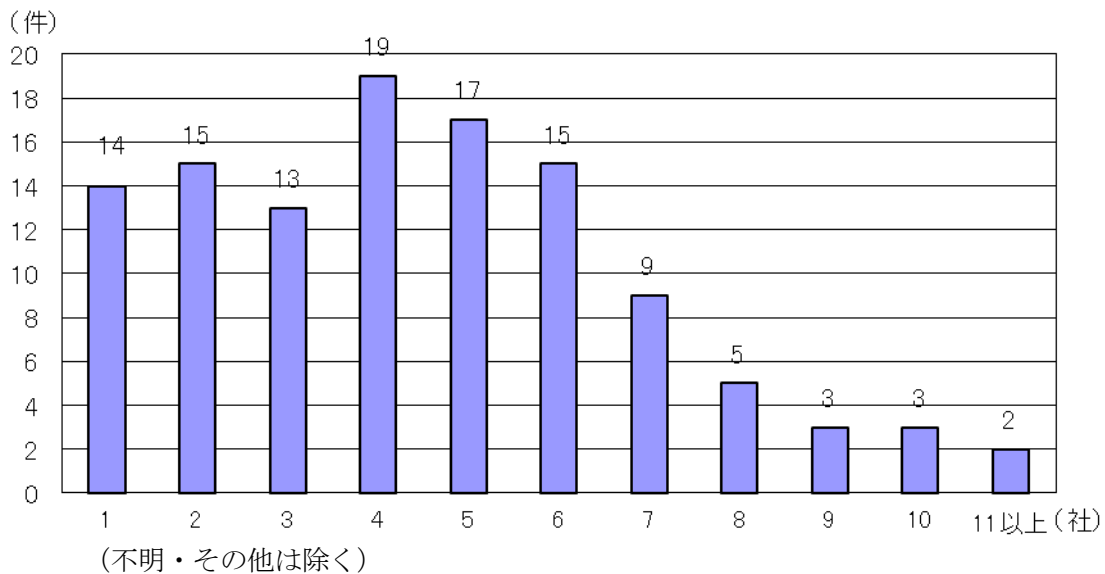
平均年齢の推移

(単位: 歳)

実施時期	平均年齢
平成22年3月	56.6
平成22年9月	54.4
平成23年3月	48.0
平成23年9月	51.7
平成24年3月	51.8
平成24年9月	50.1
平成25年3月	49.7
平成25年9月	53.2
平成26年3月	54.3
平成26年9月	53.8

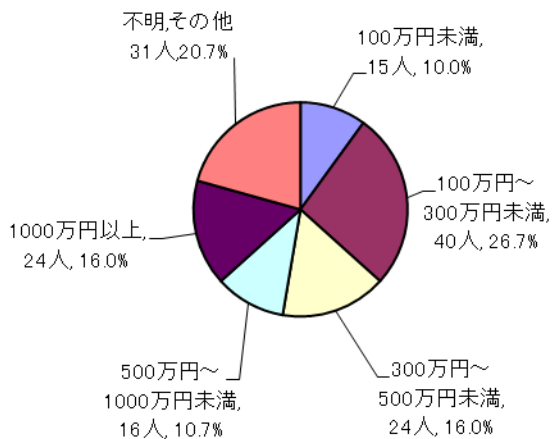
(2) 借入先数 (※同じ会社から複数の借入れがあるときは1社としてカウント)

- ・4社から借りている人が最も多い
- ・最大借入先数は23社



(3) 債務の状況

- 一人当たりの平均債務額は970万円
- 100万円以上～300万円未満の債務者が26.7%で一番多い
- 最高債務額は2億3,000万円（事業資金を含む）



平均債務額の推移

(単位:万円)

実施時期	金額
平成22年3月	539
平成22年9月	435
平成23年3月	380
平成23年9月	800
平成24年3月	690
平成24年9月	645
平成25年3月	481
平成25年9月	873
平成26年3月	1140
平成26年9月	970

(4) 主な当初の借入れ理由

- 借入れ理由で最も多いのは「低収入・収入の減少」。
- 「商品等購入」「事業資金」による借入れの件数が、増加した。

